

# KCエポパテH

KC EPO PUTTY H

一般名称	コンクリート塗装用エポキシ樹脂パテ			
適用規格	(SDK) 首都高速道路(株) 橋梁構造物設計要領コンクリート片剥落防止編(H18. 8)			
系統	変性ポリアミン硬化エポキシ硬化エポキシ樹脂パテ(2液形)			
主な用途	【コンクリート構造物用】			など
適用素材	鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス
	×	×	×	×
				コンクリート
				—
特長	1) 作業性が良い。(ローラー塗布～コテしごきが可能) 2) 巣穴への充填性が優れている。 3) コンクリート等の素地に対する付着性が良い。 4) 各種下塗りや上塗りとの適性がある。			
塗料性状	塗料密度(比重)			1.47
	溶剤密度(比重)			0.87
	加熱残分			90%
法令など		ベース	標準硬化剤	
	劇物表示 (品名・含有率)	—	—	
	労安法上の 表示有害物	キシレン、エチルベンゼン	キシレン、エチルベンゼン	
	使用有機 溶剤種別	—	—	
	消防法による 危険物区分	可燃性固体	可燃性固体	
	硬化剤の成分 による区分	変性脂肪族ポリアミン		
	ホルムアルデヒド 放散等級	—		
製品情報		ベース	標準硬化剤	
	荷姿	18kgセット	12kg	6kg
		6kgセット	4kg	2kg
	混合比(重量比)	ベース:硬化剤=2:1		
	主な色(色相)	ライトグレー(N-8近似)		
素地調整	○被塗面は十分乾燥させ、汚れ等の不純物の付着がなく、清浄であること。 ○水洗により塩分、水溶性汚染物質を除去する。適切な洗浄剤や溶剤で、油やグリースを除去する。 ○詳細は塗装仕様書を参照ください。			
使用方法	調合方法	ベースに対して硬化剤を所定の割合になるまで少しずつかき混ぜながら加え、全体を十分攪拌したのち使用する。		
	熟成時間	不要		
	使用シンナー	シンナーの使用は不可。 洗浄用シンナー : テクトEPシンナー		
	希釈率(重量比)	無希釈		
	エアレススプレー	—		
	塗装条件			

# KCエポパテH

## KC EPO PUTTY H

### 使用量と膜厚

塗装方法	標準膜厚		標準使用量 注)
	Dry(μm)	Wet(μm)	g/m <sup>2</sup> /回
ヘラ・コテ塗り	—	—	400
—	—	—	—

注)標準塗付量は、個々の条件によって異なります。

### 乾燥時間 塗装間隔 可使時間

項目		—	10℃	20℃	30℃	40℃	
乾燥時間	指触	—	2時間	2時間	1時間	1時間	
	半硬化	—	12時間	8時間	5時間	4時間	
標準塗装間隔 注)	最短	—					
	最長	—					
可使時間		—	1時間	1時間	20分	20分	

注)上記数値は施工管理上の参考データです。規格に規定がある場合はそれを優先してください。

実施工においては塗膜異常がないことを確認したのちに、次工程塗装してください。下記の主な適用上塗塗料を塗り重ねる場合です。

作業禁止条件 気温 10℃以下、湿度(RH%)85以上 (10℃以下で施工する場合は低温用硬化剤をご使用ください。)

主な適用  
下塗塗料 強溶剤: KCエポプライマー  
弱溶剤: —  
ハイソリッド: —  
水性: —

主な適用  
上塗塗料 強溶剤: KCエポエラストH中塗  
弱溶剤: —  
ハイソリッド: —  
水性: —

耐熱温度(大気バクロ環境) —  
(短時間とは、概ね1時間以内を目安としてください。)

施工管理 用特数値	希釈率(wt%)	SVR(%)	WET/DRY係数
	0	83.0	1.2

【理論WET膜厚】=【目標膜厚】÷【SVR】 式または  
【理論WET膜厚】=【目標膜厚】×【WET/DRY係数】式で  
希釈率毎の管理WET膜厚が算出できます。  
※SVR(Solid Volume Ratio)体積固分分であります。

安全情報 ○安全情報に関する詳細な内容は安全データシート(SDS)をご参照ください。  
○容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご確認の上、ご使用ください。  
○塗料が皮膚につくと人によってはカブレを起こすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。

貯蔵条件 本製品は特に水分の影響を受けないように保管してください。  
高温多湿環境・直射日光を避け、密閉した状態で冷暗所で保管ください。

使用上の  
注意事項 1)被塗面の異物(研削材、ダスト、油脂汚れ、水分)や粉化物などは塗装前に除去してください。  
2)塗装間隔が10日以上になる場合は必ず目粗しを行ってください。  
3)硬化不良や肉やせの原因となりますので、シンナーでの希釈は避けてください。  
4)混合後、発熱しますので取り扱いに注意してください。また、可使時間も短いので、混合後はできるだけ早く使い切ってください。  
5)環境温度が10℃以下の場合は、KCエポパテH低温用を使用してください。  
6)塗料が皮膚につくと人によってはカブレをおこすことがあるので、皮膚につかないように取り扱ってください。  
本品の安全衛生上の取り扱いについては技術資料031「エポキシ樹脂塗料の使用上の注意」を参照してください。  
7)塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は、SDS(安全データシート)を参照してください。